

別記様式

		担当課	総合政策課
会議の名称	令和4年度第1回鴻巣市まち・ひと・しごと創生総合戦略懇話会		
開催日	令和4年6月14日(火)		
開催時間	午前10時00分～午前11時30分		
開催場所	鴻巣市役所 大会議室		
議長(委員長・会長)氏名	なし		
出席者(委員)氏名 (出席者数)	坂本 清人 (鴻巣市商工会) 佐藤 百合子 (鴻巣市商工会女性部) 新井 公平 (ほくさい農業協同組合) 澤近 幸子 (鴻巣市交通安全母の会) 久保田 泰雄 (鴻巣市民間保育園) 江原 新治 (鴻巣市立小・中学校校長会) 石崎 恵子 (鴻巣市民生委員・児童委員協議会連合会) 石山 哲也 (武蔵野銀行鴻巣支店) 小田 晋也 (三井住友海上火災保険株式会社埼玉支店) 竹中 健司 (埼玉県県央地域振興センター) 伊藤 恵 (フラワーコミュニティ放送) 小沢 信吉 (シルバー人材センター) 五十嵐 悦子 (鴻巣市地域包括支援センター彩香らんど) 計13名		
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)	河野 美穂 (女子栄養大学) 計1名		
事務局職員職氏名	市長政策室長 藤崎 秀也 総合政策課長 鈴木 誠司 総合政策課副参事 富田 真久 総合政策課主幹 千葉 昌子		
傍聴の可否 (傍聴者数)	可(0名)		
会議の内容	1 開会 2 あいさつ 3 委員紹介(自己紹介) 4 議題 (1) 第2期鴻巣市まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要 (2) 地方創生関係交付金の事業について 5 その他 6 閉会 【次第4 議事】 (1) 総合戦略の概要について説明を行い、委員から意見等をいただいた。 ○ 地方創生の3つの視点のうちデジタルについて、DXの環境が整っているところに人は集まると思うが、市のDXの推進はどのように取り組んでいくのか。 → 市では、本年3月にデジタル・トランスフォーメーション推進計画を策定し、行政のデジタル化として、電子申請の推進、デジタルデバイド対策とし		

ての書かない窓口などの導入を行っている。国でマイナンバーカードを利用した電子申請を進めていることから、動向をみても的確なデジタル化を進めていきたい。

- 転出入の傾向を教えてください。県外からの転入促進策はあるのか。
→ 近隣市及びさいたま市の転出入が多い。県外の転出入は少ない。
 - 鴻巣市の合計特殊出生率が低い理由を考える必要がある。助成策などの周知徹底が足りないのではないかと。魅力のある施策を全国に先駆けて打ち出してはどうか。
→ 合計特殊出生率は、毎年変動がある。近隣市も含め県央地域では、一度転出し、結婚し子どもが小学生になる前に戻ってくる人が多い。区画整理地内への子育て世代の転入が多く、市内の地域間格差が生じているが、ICT教育等他市に引けを取らない施策を進めている。市の施策が伝わるようシテイプロモーションなどにより愛着の醸成を図りたい。
- (2) 地方創生関係交付金関係の事業について説明を行い、委員から意見等をいただいた。
- にこのすについて、新たな賑わいの創出として努力をしていると思うが、中の様子がわからない。お金をかけ、企業などの力を利用して、努力してほしい。
 - 鴻巣市のよさを子どもたちに教えることで、やがてその子どもたちが戻ってくればいい。コウノトリ野生復帰センターは、広々してよい。環境教育としても来訪者が増えるとよい。市内各所への交通網が確立されると、市外の方も訪れやすいのではないかと。
 - K P I の項目について、国からの指示か。にこのすに来場者数を指標に加えてほしい。コウノトリに係る栽培面積が増加する可能性はあるのか。特別栽培米を私たちがPRしていきたい。
→ K P I は、市で設定し、国と協議している。来年度報告する推進交付金において、にこのすの来館者数をK P I に設定する。
栽培面積の増加分はゼロだが、実際の栽培面積は57,000㎡、昨年新規で特別栽培米に取り組んでいる方が2名、さらに興味のある方もいることから、働きかけをしていきたい。
 - 合計特殊出生率の低さは、大変な数値。現場では、親子とも忙しくなっていると感じる。仕事が家庭に入り、団らんがなくなっており、この状況で子どもが成長し楽しい生活を送れるのか、このままでよいのか不安。大人たちが根本を考えていく必要がある。
 - にこのすのK P I について、指定管理者は熟知しているか。
→ 指定管理者であるアイルコーポレーションとは、推進交付金に係るK P I を含め、定例会で情報を共有し、確認している。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ イベントのない時代の都市間競争の中で、転入増加のため、まちの誇りとして、にこのすやコウノトリなどのいつでも訪れることができるものを増やすことができれば、商工会としても協力しやすい。 ○ 会議でにこのすを利用したいが、予約方法がわからない。ネット予約ができるようにしていただけると使いやすい。1階がカフェで、駐車場もあるので、利用価値が増えるのではないか。 ○ 交付金の事業について、継続性のソフト面はどのくらい使えるのか。 → ハード事業の後は、推進交付金として国の補助を3年間受けながら、企業と協力しながら自立する。
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・委員名簿 ・座席表 ・鴻巣市まち・ひと・しごと創生総合戦略懇話会要綱 ・鴻巣市まち・ひと・しごと創生総合戦略懇話会傍聴規程 ・令和4年度第1回まち・ひと・しごと創生総合戦略懇話会レジュメ ・第6次鴻巣市総合振興計画（概要版） ・このすLIFE